

第八十二回帝國議會 石油專賣法案外二件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案 石油專賣法案(政府提出)(第四八號) 交易營團法案(政府提出)(第四九號) 燃料局特別會計法案(政府提出)(第三〇號)

昭和十八年二月四日(木曜日)午後一時五分 開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事川俣 清音君

理事野田 武夫君 理事片山 一男君

理事森川 仙太君 理事中村庸一郎君

理事山本 彥吉君

伊藤三樹三君 今尾 登君

川上 胤三君 金光 邦三君

河盛安之介君 小柳 牧衛君

小坂 武雄君 齋藤 憲三君

澤田 利吉君 田嶋榮次郎君

高橋壽太郎君 東條 貞君

中島彌團次君 西尾 末廣君

福田 重清君 本多 鋼治君

松浦 伊平君 前田 善治君

三木 武夫君 山崎 常吉君

八木宗十郎君 八木 元八君

吉田敏太郎君

同日委員松浦伊平君辭任ニ付其ノ補闕トシテ前川正一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農工大臣 岸 信介君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主計局長 植木庚子郎君

大藏書記官 河野 一之君

燃料局長官 楠瀬 常猪君

燃料局部長 山口 眞澄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

石油專賣法案(政府提出)

交易營團法案(政府提出)

燃料局特別會計法案(政府提出)

○川俣委員長代理 ソレデハ是カラ委員會ヲ開キマス、木暮委員長ガ昨日類焼サレマシタノデ、突然郷里ニ歸ラレマシタカラ私代ツテ務メマス

政府提出石油專賣法案、交易營團法案、燃料局特別會計法案、何レモ政府提出法律案デアリマス、政府ノ提案理由ヲ說明ヲ求メマス

○岸國務大臣 石油專賣法案及ビ交易營團法案ノ提案理由ヲ御說明致シマス、先ヅ第一ニ石油專賣法案デアリマスガ、石油ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ、其ノ重要性ニ鑑ミマシテ、從來種々ノ施策ヲ致シテ參リマシタガ、特ニ其ノ配給方面ニ於キマシテハ、切符制ヲ斷行致シマスル外、配給統制機構ヲ根本的ニ整備致シ、中央ニ石油配給會社並ニ此等ノ配給所ヲ設ケマシテ、政府ノ配給指示並ニ指導、監督ノ下ニ、此等配給機構ヲシテ石油現物ノ配給ヲ行ハシメ來ツタノデアリマス、然ルニ、大東亞戰爭勃發以來戰局ノ推移ト共ニ、石油需給ハ頓ニ緊要ノ度ヲ加ヘ、石油ノ確保ト之ガ徹底的ノ高度重點配給ガ、時局下、益々要請セラレ來ツタコトハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマス

而シテ石油配給ノ現狀ヲ見マスルニ、軍需油ニ付テハ、既ニ軍ニ於テ之ヲ管理セラレテ居リマスルガ、官民需油ニ付キマシテハ、從來ノ如キ石油配給統制ノ方式ヲ以テシテハ、重點配給ヲ致シマスルニ不十分ナ

ルコトガ、痛感サレテ參ツタノデアリマス、即チ配給ヲ指示致シマスル主體ト、現物ヲ所持、配給致シマスル主體トガ一體化スルコトガ必要ト感ゼラレマシテ、政府自ラ石油ノ現物ヲ把握シ、且ツ同時ニ自ラ其ノ配分ノ衝ニ當ル爲メ、茲ニ今次ノ戰爭ニ際シ、石油ノ專賣制ヲ創設スルコトトナリ、本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以下本案ノ要點ニ付キ概略申上ゲマス

本制度ハ石油製品ノ販賣專賣デアリマシテ、隨テ石油ノ製造專賣ニマデハ立チ入ラナイト同時ニ、原油ニ對シテモ之ヲ及ボサナイモノデアリマス、尙ホ軍管理下ノ石油モ本專賣ヨリ除外致サレル豫定デアリマス、本專賣ノ對象トナルベキ石油ハ、差當リ揮發油、燈油、輕油、重油、機械油等ヲ豫定シ、是等ノ石油ノ輸移出入又ハ賣捌ハ、政府又ハ政府ノ命ヲ受ケ若シクハ指定ヲ受ケタル者ニ限ルコトト致シマス、石油製造者ノ製造致シマシタル石油ハ總テ政府ガ之ヲ收納致シマス、本法制定ニ伴ヒマシテ、揮發油及ビ「アルコール」混用法、及ビ揮發油稅法ヲ廢止致シマスル外、石油業法及ビ人造石油製造事業法ノ關係條項ヲ若干整理致シマシタ

尙ホ本制度ノ實施ニ伴ヒ、民間石油配給業者ノ企業運営上ニモ一層ノ刷新、合理化ガ必要ト認メラレマスコトハ勿論デアリマスガ、他方配給ノ實務ニ習練シテ居ル既存業者、既存配給機構等ハ賣捌人ニ指定致シマス等、極力之ヲ活用シ、無用ノ經過的混亂ヲ避ケテ行ク方針デアリマス

次ニ交易營團法案ノ提案理由ヲ御說明致シマス、本法ノ立案ノ根本趣旨ニ付キマシテハ本會議ニ於テ之ヲ申述ベマシタ通りデアリマスガ、現下ノ決戰段階ニ於テハ、一切ノ施策ヲ綜合戰力増強ノ爲ニ集中動員セネバナラスコトハ申スマデモナイ所デアリマシテ、我が國現下ノ交易政策モ亦此ノ線ニ沿ヒ強力ニ推進セラレネバナラスノデアリマス、然ルニ交易ノ實施ニ付キマシテハ國內各地域ノ物價ノ相違、其ノ他諸種ノ障礙ガ横タハツテ居ルノデアリマシテ、此ノ諸障礙ヲ調整スルト共ニ國家ノ財政的負擔ヲ極力輕減シツツ計畫交易ヲ強力ニ遂行致サネバナラスノデアリマス、政府ニ於キマシテハ從來特定ノ重要物資ニ付キマシテハ、其ノ輸入價格差損ハ主トシテ財政支出ニ依リ調整シ、低物價ノ維持ニ資シテ參ツタノデアリマスガ、其ノ他ニ付キマシテハ民間團體ノ價格平衡資金、調整料等ノ資金ヲ以テ可及的ニ輸入價格差損ヲ補填スルノ措置ヲ講ジテ參ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ方法ヲ以テシテハ次第二十分ナル效果ヲ擧ゲルコトガ困難ト認メラルルニ至リマシタノデアリマス、斯カル情勢ノ下ニ於テ計畫交易ヲ遂行スル爲ニハ、各地域ニ互リ且ツ各輸出入物資ヲ有機的且一元的ニ操作スルコトガ絕對緊要ト認メラルルノデアリマス、右ノ如キ施策ハ現在ノ交易統制機構及ビ統制方法ヲ以テシテハ困難ト思料セラレマスノデ、茲ニ交易營團ヲ設置致シ交易ノ統制運營ノ一元的中樞機關トシ、其ノ責任ニ於テ計畫交易ノ迅速的

確ナル遂行ヲナサシメントスル次第デアリマス  
尙ホ重要物資管理營團ノ業務ハ最近ノ物  
資需給狀況ニ鑑ミル時ハ、近來益々交易部門  
ト密接ト相成リマシタノデ、此ノ際交易營團  
ニ重要物資管理營團ノ業務ヲ繼承セシメン  
トスルモノデアリマス

次ニ本法案ノ概要ニ付キ御説明申上ゲマス、  
第一ハ本營團ノ目的デアリマスガ、本營團ハ交  
易ノ統制運營ト重要物資ノ貯藏ノ確保増強等  
ヲ圖ルコトヲ目的トスルモノデアリマシテ、  
之ニ付テハ彙ニ本營團設立ノ理由ニ於テ申述  
ベマシタル通りデアリマス、第二ハ本營團ノ資本  
金デアリマスガ、本營團ノ事業ガ高度ノ國家  
の性格ヲ持ツモノデアリマスガ故ニ、營團ノ資  
本金ハ三億圓中二億五千萬圓ヲ政府出資、  
五千萬圓ヲ民間出資ト致シ、政府出資ハ國  
債ヲ以テ爲シ得ルコトト致シタノデアリマ  
ス、營團ノ資本金額ハ營團ノ事業規模ヲ考  
慮シ、概ネ資本金ノ利息ヲ以テ其ノ事業費  
ヲ賄ハシムルノ方針ノ下ニ三億圓ト致シタ  
ノデアリマス、尙ホ本營團ノ業務ニ付キマ  
シテハ交易業務、貯藏業務何レニ付キマシ  
テモ剩餘金ヲ期待スルコトガ困難ト認メラ  
レマスノデ、民間出資ニ付テハ政府ニ於テ  
配當補給ヲナシ、年四分程度ノ配當ヲナシ  
得ルヤウ措置致シタノデアリマス、第三ハ本  
營團ノ業務ニ付テデアリマスガ、營團ハ其  
ノ目的ヲ達成スル爲ニ、先ヅ第一ニハ交易  
業務、即チ物資ノ輸出及ビ輸入並ニ之ニ伴  
フ當該物資ノ買入及ビ賣渡ヲ行フモノデア  
リマシテ、之等ノ業務ニ付キマシテハ營團自  
ラ之ヲ行フノ外、貿易業者ヲ交易實務擔當  
者トシテ使用シ又ハ貿易業者ニ委託シテ行  
フ等貿易業者ノ活用ニ努ムル方針デアリマ  
ス、第三ニハ重要物資ノ貯藏業務デアリマ

シテ、之ハ重要物資管理營團ノ業務ヲ其ノ  
儘繼承スルモノデアリマス、其ノ他交易業  
務及ビ貯藏業務ニ附帶スル業務等ヲ行ハン  
トスルモノデアリマス、尙ホ本營團ノ業務  
ハ輸出、輸入及ビ貯藏ニ互リ其ノ内容多種  
多樣デアリマスガ、現下ノ時局ニ鑑ミ其ノ  
能率ノ發揮ニ格段ノ配意ヲ爲ス關係上、輸  
出業務等ニ付テハ其ノ一部ヲ現存ノ輸出調  
整機關ヲシテ取扱ハシムルコトト致シタノ  
デアリマス、第四ニハ本營團ト爲替交易調  
整特別會計トノ關係デアリマスガ、營團ハ  
其ノ交易業務ヨリ生ズル價格差益ヲ價格差  
益納付金トシテ特別會計ニ納付スルト共ニ、  
價格差損ニ付テハ特別會計ヨリ價格差損  
補償金ノ交付ヲ受クルコトニ相成ツテ居ル  
ノデアリマス、第五ニ本營團ノ重要性並ニ  
營團ニ認メタル諸種ノ權限ニ鑑ミ、略、一般  
ノ營團中ニ設ケラレテ居リマス如キ監督規  
定ヲ設ケタノデアリマス、最後ニ本營團ノ  
設立ニ伴ヒ重要物資管理營團ノ權利義務ハ  
一括本營團ニ承繼セラルルコトト致シマシ  
タルト共ニ、貿易統制會ニ付キマシテハ之  
ヲ解散セシメ、其ノ機能ヲ本營團ニ吸收ス  
ルコトト致シ豫定デアリマス

以上デ兩法案ノ提案理由ニ關スル御説明  
ヲ終リマスガ、何卒御審議ノ上速カニ御同  
意アラントラ御願ヒ致シマス  
○川俣委員長代理 大藏大臣及ビ大藏次官  
モ他ノ委員會ニ出席ヲ致シテ居リマシテ見  
エラレマセヌノデ、植木大藏省府委員ヨ  
リ御説明ヲ願ヒマス  
○植木政府委員 本委員會ニ付託ニ相成リ  
マシタ燃料局特別會計法案提出ノ理由ヲ説  
明申上ゲマス、大藏大臣若シクハ大藏次官  
ヨリ御説明申上ゲルノガ相當ナノデアリマス

ガ、只今委員長カラモ御話ノアリマシタ通  
リ、據ドコロナイ會議ニ出テ居リマスノデ  
私カラ申上ゲルコトヲ御許シ願ヒマス  
燃料局特別會計法案提出ノ理由ハ、本會  
議ニ於キマシテモ申上ゲマシタ通りデアリ  
マシテ、政府ハ今回時局ノ要請ニ應ジマス  
ル爲メ石油ノ專賣事業ヲ經營スルコトト致  
シマシテ、之ニ關スル法律案ヲ別途提出致  
シテアリマスコトハ、只今商工大臣ヨリ御  
説明ノアリマシタ通りデアリマスガ、此ノ  
石油ノ專賣事業ニ關シマスル歳入歳出ハ、  
其ノ損益ヲ明瞭ナラシムル必要ガアリマス  
ノデ、之ヲ一般ノ歳入歳出ト區分致シマシ  
テ特別ニ經理スルノ適當ト存ゼラレルノ  
デアリマス、然ル所此ノ石油ノ專賣事業ハ  
「アルコール」ノ專賣事業ト同様ニ燃料局ヲ  
シテ經營セシムル計畫ト相成ツテ居リマス  
ル關係上、之ニ關シマスル歳入歳出ハ、「ア  
ルコール」ノ專賣事業ニ關スル歳入歳出ト  
一括經理致シマスノガ適當ト認メラレルノ  
デアリマス、隨テ是ガ爲ニハ從來ノ燃料局  
酒精部特別會計ヲ廢シマシテ、新タニ兩事  
業ニ關シマスル歳入歳出ヲ一括經理致シマ  
ス所ノ特別會計ヲ設置致ス必要ガアルノデ  
アリマス、故ニ作業會計法中所要ノ改正ヲ  
行ヒマスト共ニ、新タニ燃料局特別會計法  
ヲ制定致サントスルノデアリマス、以上ノ  
理由ニ依リマシテ本法法律案ヲ提出致シタ  
第デアリマス、何卒御贊成ヲ御願ヒ致シマ  
ス

○川俣委員長代理 此ノ際御諮リ致シマス、  
本委員會ノ部屋ハ午後二時カラ他ノ委員會  
ニ於テ使用スルコトニナツテ居リマスノデ、  
質疑ハ他日ニ譲リ、本日ハ參考資料ノ請求  
ヲ致ス程度ニ止メタイト存ジマス、參考資

料ノ要求ハ速カニ委員長又ハ理事ノ手許マ  
デ御提出願ヒタイト存ジマス、尙ホ政府側  
ニ於カレマシテモ右資料ヲ速カニ提出セラ  
レ、委員會ノ審議ノ便ニ供セラレンコトヲ  
希望致シマス、次回ノ委員會ノ日取ハ公報  
ヲ以テ御知セシマス、是ニテ散會致シマス  
午後一時二十三分散會

昭和十八年二月五日印刷  
昭和十八年二月六日發行  
衆議院事務局  
印刷者 内閣印刷局